



「訪ねよう！国際機関 ITTO(国連熱帯木材機関)」に参加しました！(6月18日) 横浜みなとみらい地区は、その開発当初から国際的な都市を目指しており、パシフィコ横浜を建設した際に国際会議場を含む「横浜国際協力センター」を設置し、FAOやWFPといったいくつもの国連機関を誘致しました。中でもITTOは、日本に本部がある唯一の国連条約機関です。この機関を知る企画に、国際の1年生2名が参加しました。広報官の方からわかりやすい英語で丁寧に説明をしていただき、国際機関を少しだけ身近に感じられたのではないかと思います。



(左) 日本語のパワーポイントによる説明。映像もペルーの熱帯雨林についての取り組みが紹介され、わかりやすい内容でした。

(中) 参加者の半数は高校生。質問も多く飛び出し、穏やかな中にも活発な意見が交わされました。

(右) ITTO広報官のラモン・カリーヨさんと記念撮影。〇〇さんと〇〇さん(ともに1-B)。

感想 ● 今まで全然知らなかったITTOについてたくさん知ることができました。また、実際にITTOの職員の方も来て、直接質問ができる貴重な機会になりました(〇〇さん)

● ITTOについて、また世界の熱帯雨林について知ることができました。職員の方もていねいに話をしてくださってとてもいい機会になりました(〇〇さん)



アメリカ語学研修CA来日！(7月4日)

3年生がアメリカ語学研修に行った際にお世話になったCA(cultural assistant)、Adrian Franciscoさんが国際語科を訪ねてくれました。彼はオーストラリア出身で、メリーランド大学4年の時にCAをしてくださいました。今回は東京で観光をするために来日したそうです。国際語科のどの生徒にとっても、CAと過ごしたアメリカでの思い出は大きな財産になっています。

←当時のグループのメンバーで記念撮影！



ようこそILCへ！～コスタリカ、アメリカからの体験入学生徒

6月23日から、国際語科に日本に一時帰国した生徒が体験入学していました。〇〇〇〇さん(3年A組に6月27日まで)と〇〇〇〇さん(2年A組に7月19日まで)がそれぞれクラスで学びました。ともに海外生活が長く英語の方が日本語よりも得意です。2人ともすぐにクラスに溶け込めた様子です。諏訪さんは国際語科の生徒に向けて文章を寄せてくれました。

My name is Daniela Suwa. I'm half Costa Rican and half Japanese. I came from Costa Rica to attend Hayato high school for a short period of time. I moved to Costa Rica about a year ago, just after graduating from middle school. At first I was very anxious about leaving my home country. Even though I was already in an international environment and I had experience being abroad, I knew that actually living in Costa Rica would be life changing. I was right. I had very hard times, culture shocked and home sick but as time passed, I got adapted to the new environment. At first I was very close-minded about being overseas but then I realized how much I could absorb. There are so many things you don't know out there. Being in Costa Rica crashed the confidence I had built in Japan by making me realize how small my world was and how ignorant I was. Then it helped me construct a new, much stable and reliable confidence on my self and a tough heart so I can stay opened at all times. Recently, how to correspond to globalization is a big topic. People often say it is important to be aggressive and to have a strong self but I think "knowing" and "understanding" is the most important thing. Being aggressive without knowing anything is what fools do. Everyone can be ignorant but only people who try to understand and know can be globally ready. I felt that the Hayato ILC is filled with power and capability for knowing and understanding the world. I am very happy to be able to study and spend time with everyone in Hayato. (〇〇〇〇さん)

〇〇さんを囲んで、記念写真！



一番左が〇〇さん



夏期障害児余暇支援ボランティアの説明会が開催されました！(6月4日) 国際の生徒はボランティア活動への参加意欲が高く、春、夏、冬の長期の休みには数十名が何らかのボランティア活動を行っています。この日は、保土ヶ谷区、西区の社会福祉協議会の職員の方が、夏祭りなどのボランティアを紹介してくださいました。参加した25名の生徒は熱心に説明を聞いて、その場で申し込みをしました。まだまだボランティアの募集があります！これはと思うものには是非参加して、夏休みの思い出を作ろう！



ようこそ先輩～毛彩霞(マオ・チャイシャ)先輩(右)、松本紫草先輩(左)(6月16日) 今回は日本国内外で活躍している先輩を紹介します。毛先輩は早稲田大学国際教養学部を卒業した後、オックスフォード大学の大学院を修了し、国連関連の環境問題を研究する機関で働いています。松本先輩はホスピタリティツーリズム専門学校のエアライン学科を卒業した後、デュッセルドルフ(ドイツ)のレストランで働き、現在は横浜のイタリアンレストランで働いています。「海外の大学は日本の大学の何倍も厳しくて、すぐやめようと思いました。でも大学で学んだことを活かしてこれからも研究を続けていきたいです(毛先輩)」 「最初はCAを目指していたのですが、ドイツの日本食レストランで3年働きました。やりたい仕事だったので今の仕事にとっても満足しています(松本先輩)」